

「総合的な学習の時間」指導案

指導者 大久保 優

- | | |
|-------|----------------------|
| 1 日時 | 令和2年9月9日(水) 第5校時 |
| 2 学年 | 第5学年 9名 第6学年 4名 計13名 |
| 3 単元名 | 人とのつながりから地域のよさを見つけよう |

単元設定の理由

【単元について】

本単元は、探究課題「やまゆり活動を発展させよう」を基盤に開発した単元である。本校では「やまゆり訪問」という、広島赤十字原爆病院にササユリの花束を持って慰問する取組が70年続いている。始まった当時は花束のみだったが、現在では千羽鶴や文集を持参して、入所者の方に渡している。例年は入所者の方との触れ合いの時間を設けてもらい、歌や手遊び、フリートークなどをして交流を深め、被爆者の思いを受け止めていた。

ササユリは、近くの山の一角に「ササユリ栽培地」があり、近年は地域の方が整備してくださり、種まきや球根植え、観察会等を行っている。訪問の前日にはやまゆり参観日を設定し、ササユリを採取し、地域の方からいただいた他の花と合わせて、児童一人一人がフラワーアレンジメントを作製している。「やまゆり」はこの地域での「ササユリ」の呼び名で、「やまゆり訪問」という名前の由来はここからきている。

文集は「やまゆり文集」と名付けられ、日頃の生活ややまゆり訪問への思い等を綴っている。

本単元における探究的な活動を通して、70年も続くやまゆり訪問の歴史の重みを感じ、そのよさやそれを守ってきた人の思いや願いに気づき、自分たちも歴史をつなげていく一人という自覚を持たせ、自分たちにできることを考え、伝えていくことをねらいとしている。どうしたら、今後のやまゆり活動が発展的に続いていくのか、自分たちの活動を周りに分かりやすく伝えることができるのかを考えながら活動に取り組むことを通して、自分たちが未来の上殿地域を創っていくという思いを持たせていきたい。

【児童の実態について】

【研究主題に迫るための手立て】

- (1) 地域素材を生かして、学習のゴールを明確にした教科横断的な単元づくりを工夫する。
 - ・学校行事「やまゆり訪問」という伝統的な活動をさらに発展させるという学習のゴールに向け、調査活動や表現活動を進めていく。
 - ・総合的な学習の時間と国語、社会等との関連を図り、教科横断的に学習を進める。
- (2) 「ずれ」や「可能性」などを感じさせる工夫をし、願いや気づきが生まれる学習課題を設定する。
 - ・世代による「ずれ」や立場の「ずれ」などを効果的に示しながら学習を進める。
- (3) 多様な整理・分析方法を示し、課題解決に取り組ませる。
 - ・「座標軸」や「ベン図」「チャート」などの思考ツールを紹介し、活用しながら、集めた情報を整理・分析し、問題解決に取り組ませていく。

4 単元目標

- ・70年間続く「やまゆり訪問」の歴史を基盤とし、やまゆり活動の伝統をつないできた人々の工夫や努力、思いについて体験活動を取り入れた探究的な学習を通して、平和の大切さを理解するとともに、やまゆり活動の意義について、他教科の学習とも関連付けて情報発信をしたりする力を高め、学習したことを自分たちの生活に生かすことができるようにする。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①やまゆり活動には歴史があることを理解するとともに、やまゆり活動の伝統をつないできた人々の工夫や努力、思いについて気づいている。</p> <p>②やまゆり活動を調べるために、課題に応じた方法で調査を実施している。</p> <p>③これまでの学習をまとめ、ふり返ることを通して、やまゆり活動の意義を理解している。</p>	<p>①やまゆり活動について、自分事として課題を見つけ、学習課題を設定している。</p> <p>②課題解決に必要な方法を明確にししながら、学習計画を立てている。</p> <p>③調査して集めた情報を比較、取捨選択しながら、やまゆり活動を地域に広めていくためのよりよい方法について考えている。</p> <p>④互いの考えや理由、収集した情報などを比較、取捨選択しながら、自分たちの思いを分かりやすくまとめたり、活動したりしている。</p>	<p>①課題解決に向けて、自分が考えるよりよい方法で取組もうとしている。</p> <p>②やまゆり活動の意義や内容を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取組もうとしている。</p> <p>③自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて積極的にかかわろうとしている。</p>

6 指導と評価の計画（全50時間 本時 13/50）

次（時間）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
やまゆり訪問に向けて（10時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・やまゆり訪問の発表内容を考え、練習する。 ・地域の方とササユリ栽培地に行き、ササユリ採取の方法や苦勞を知る。 ・入所の方が喜んでもらえるようなササユリのフラワーアレンジメントを作る。 ・やまゆり訪問を行い、やまゆり活動を振り返る。 		①	③	<p>① 行動観察</p> <p>① 行動観察</p> <p>③ 行動観察</p> <p>④ ③ 行動観察</p>
やまゆり活動を調べ発展させよう（18時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・学級全員で取り組む課題を設定する。 ・これからやまゆり活動を発展させていくためにできることを考える。 ・学習課題に照らし、「やまゆり活動」の計 	②	① ② ②	① ① ①	<p>① 行動観察、ノート</p> <p>① 行動観察、ノート</p> <p>① 行動観察、ノート</p>

	画を立てる。 ・ササユリ栽培の歴史やフラワーアレンジメントについて調べる。 ・千羽鶴が折られるきっかけとなった佐々木禎子について調べる。 ・過去のやまゆり文集から、卒業生がどういう思いでやまゆり訪問に取組んできたのかを調べる。 ・過去のやまゆり活動について、卒業生や在職していた教職員、地域の方にインタビューや質問の手紙を送って調べる。	① ② ② ①	③ ③ ② ③		行動観察、ノート ノート 行動観察、ノート 行動観察、ノート
やまゆり活動を発信しよう (20時間)	・ここまでの「やまゆり活動」をふり返り、どう伝えていくのがよいか、課題を再設定する。 ・学習課題に照らし、発信するための計画を立てる。 ・発表の場で、どのように伝えたらよいかを考え、練習をする。 ・学習発表会でやまゆり活動の取組、調べてきたこと、平和に対する自分たちの思いを発信する。		① ② ④ ④	① ② ② ②	行動観察 ノート 行動観察、発言 行動観察、発言
やまゆり活動についてまとめよう (2時間)	・これまでの活動をふり返り、次年度の「やまゆり訪問」をどうしていくのがよいか、課題を再設定する。 ・これまでの学習活動をまとめる。	③	②	③	ノート ノート、表現物

7 本時の学習

(1) 本時のねらい

○今後のやまゆり活動を充実させるために、今後の活動について、座標軸を用いて視点に沿って比較分類することによって、根拠を明らかにした上で選択したり判断したりできるようにする。

(2) 準備物

- ・電子黒板
- ・タブレット端末

(3) 学習の流れ (13時間目/全50時間)

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	・支援等 ◎評価
3	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>・学習のめあてをつかむ。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> やまゆり活動をもっと広げていくために、自分たちにできることを考えよう。 </div>		
8	<p>2 今後の取組みについて、個人で考える。</p> <p>・やまゆり活動について、「訪問」「ササユリのフラワーアレンジメント」「文集」「折り鶴」で行ってきたことを振り返る。</p>	<p>・これまでの活動を振り返らせ、調べてみたいこと、やってみたいことを考えさせる。</p>
12	<p>3 個人で考えたアイデアを分類する。</p> <p>・「すぐできる」「時間がかかる」「みんなでする」「一人でできる」等の視点に沿って位置付ける。</p>	<p>・タブレット端末を使って、全員の考えが一つの画面で共有できるようにする。</p>
12	<p>4 視点に沿って、ランキングをつけてさらに絞り込む。</p> <p>・「みんなでする」「すぐできる」に位置付いたものについて、ランキングでさらに絞り込む。</p>	<p>・視点を明確に意識させる。</p> <p>◎座標軸を用いて視点に沿って比較分類し、根拠を明らかにした上で選択している。(発言・タブレット)</p>
10	<p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>・本時の話し合いをもとに今後の活動にもふれながら、振り返りを書かせる。</p>